

2025.3.26



岐阜大学全学技術センター フィールド科学技術支援室の 業務説明

高等研究院全学技術センター
フィールド科学技術支援室
主任技師 酒向 隆司

東海国立大学機構統括技術センター

岐阜大学全学技術センター

名古屋大学全学技術センター

ものづくり工学技術教育支援室



フィールド科学技術支援室



科学研究基盤技術支援室



情報技術支援室

農学分野だけに限らず、
工学分野や分析分野、情
報分野等に約30名の技術
職員が所属し、岐阜大学
の教育・研究の維持・運
営に貢献しています

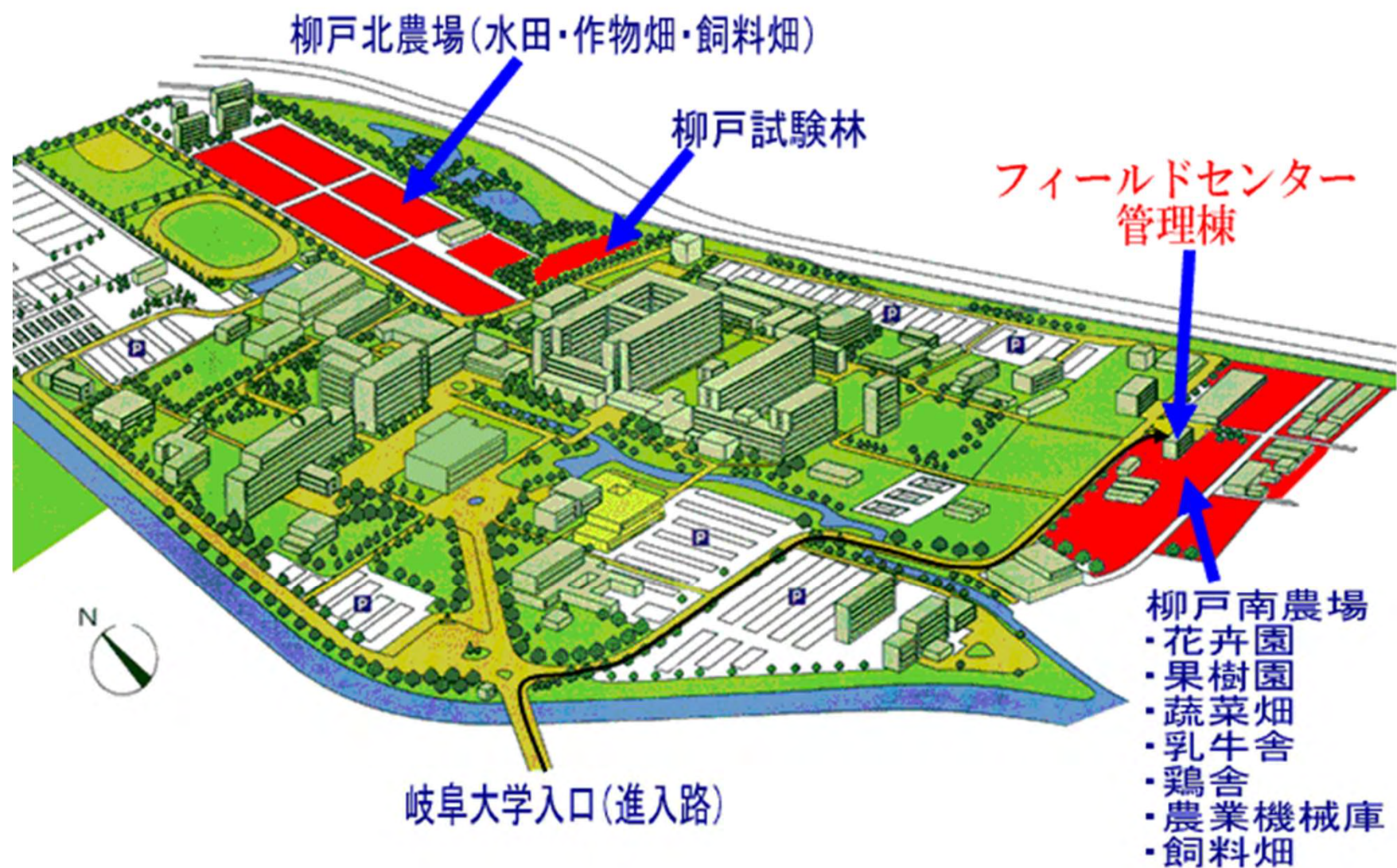


位山演習林
(下呂市)

柳戸農場
柳戸試験林
(岐阜市)

美濃加茂農場
(美濃加茂市)

岐阜大学キャンパスマップ



フィールドセンターの業務内容

- ① **業務の維持**・・・動植物の生産活動の維持管理
農畜産物の販売による収益
- ② **教育支援**・・・学生実習の実施
- ③ **研究支援**・・・学生の卒業研究のサポート、
奨励研究の実施
- ④ **地域貢献**・・・地域住民への公開講座の実施、
幼稚園児や小学生生徒への
「学びの場」の提供など



酪農：乳牛を20頭程度飼育
毎日朝・夕搾乳を行っている
令和3年に施設改修を行い、つなぎ飼い方式から
コンポストバーン方式に飼育形態を変更



養鶏：採卵鶏約1,200羽を飼育して鶏卵を生産し、消費者の方に販売を行っている
令和4年度に施設改修を行い、ケージ飼育と平飼い飼育の両方の飼育形態を備えた施設となった



稲作：岐阜県の奨励品種である「ハツシモ」と「もち米」を生産して、消費者の方に販売している



蔬菜：季節に応じた野菜を栽培し、消費者の方に販売している



果樹：多種の果物を栽培し、消費者の方へ販売をしている

美濃加茂農場では、岐阜県の地域ブランドである「飛騨牛」の生産を行っています。母牛を飼育し、仔牛を産ませて、その仔牛を肥育業者へ出荷するという繁殖農家の形態を取っています。

主な業務は、牛への飼料給与、糞尿の清掃、牛の健康管理となります。



位山演習林では山1つ全体を岐阜大学が所有し、森林の維持管理を行うとともに、林業全般に関して学生に実習指導を行い、教員の研究補助も行っています。





フィールドセンターが開催している公開講座

- 動物系公開講座「肉と卵と牛乳の科学と実際」
- 家庭菜園の基礎「理論と実際」
- 「味噌作り」
- JAぎふとの共催による「食と緑といのちの学校」
- 「雪山を歩こう」（演習林）
- 「筍掘り」（美濃加茂農場）
- 「チェーンソー取り扱い」（柳戸試験林）



フィールドセンターが行っている地域貢献 (学内対象者のものを含む)

- 附属保育園「ほほえみ」の園児によるジャガイモ・サツマイモ掘り、果実収穫
- 近隣幼稚園の園児によるジャガイモ掘り・稲刈り
- 春の花市（地域住民のための花・野菜苗の即売会）
- 各務原市の小学生による家畜とのふれあい
- 岐阜女子短期大学の学生による家畜とのふれあい
- 中部学院幼児教育学科との教育連携
- 安全衛生教育（刈払機取り扱い作業者）
- 学園祭での農産物販売
- カモミールカフェ、本部棟、医学部棟などでの出張販売



技術職員が取得している各種資格

- 第一種衛生管理者
- 危険物取扱者（甲種、乙4類）
- 二級ボイラー技士
- 毒物劇物取扱者（一般）
- 農業技術検定（1級、2級）
- 人工授精師（牛）
- 大型特殊免許（農耕車）
- 初級システムアドミニストレータ
- 第二種電気工事士
- その他、特別教育・技能講習の受講

専門的かつ先端研究が行えるという業務内容ではなく、実験・研究を行うための家畜や農作物の維持・管理という意味合いが強い業務になります。ですが、本人の希望や努力次第では、予算を確保して研究を行うことも可能です。（私も学会発表を3回経験しています）

それに加えて、学生実習の指導というのも大木な役割となっています。岐阜大学では技術職員が主体となって、学生に実習指導を行っています。

また、生乳・鶏卵・肉牛や農産物を販売しているのですが、収入に応じて次年度の予算配分が決まるため、収益を上げるための経営努力をして貰う必要もあります。

屋外での作業や力仕事も多く、ある程度の体力が求められる業務でもあります。

ですが、各個人に与えられる業務の権限が大きく、本人の努力次第で職務の幅を広げられ、大きなやりがいを感じられる職種でもあります。

興味のある方は、ぜひお問い合わせ下さい。

フィールド科学技術支援室 酒向（さこう）

sako.ryji.i6@f.gifu-u.ac.jp